

開発経済論特講 II

選択 2単位

江夏 由樹

1. 授業の概要(ねらい)

開発経済学は開発途上国の貧困問題に関わることから、経済学の領域に踏みとどまることなく、考察の対象となる国・地域の政治、社会、歴史などへの深い洞察が必要となってきます。本講義では、受講者の興味関心に対応しつつ、開発経済学とはどのような学問であるのか、そこではどのような議論が展開されているのかといった点から検討を進めていきます。そのなかで、受講者の具体的な研究関心を確認しつつ、議論の焦点を絞っていきます。本講義は「開発経済論特講I」に続く形で進めていきます。ただし、「開発経済論特講I」を履修していない受講生にも配慮して講義を進めていきます。まずは、「4.教科書・参考書」に示す開発経済学関係の基本的な書籍をテキスト・参考文献として取り上げます。受講者の研究関心に対応する講義内容としたいことから、「7.各回の授業内容」は一つの例示と考えてください。参考文献はその都度講義のなかで紹介します。

2. 授業の到達目標

開発経済学とはどのような学問であるのか、そこではどのような議論が展開しているのかという点などについての基本的な理解を深める。

3. 成績評価の方法および基準

詳細は履修状況を確認してから決めますが、期末レポート(50パーセント)、講義への出席・報告・議論への参加(50パーセント)を基準として考えています。

4. 教科書・参考文献

参考文献

山形辰史編 『やさしい開発経済学』(1998年)ージェトロ・アジア経済研究所のホームページからダウンロードできます。

アジア経済研究所

アマルティア・セン・大石りら訳 『貧困の克服ーアジア発展の鍵は何か』(2002年) 集英社新書

5. 準備学修の内容

毎回、テキスト・参考文献の指定された部分をあらかじめよく読んでおくことが必要となります。

6. その他履修上の注意事項

狭い意味での「開発経済学」だけでなく、他の経済学の領域、政治学、社会学、歴史学などの分野に関心をもつ院生の皆さんの受講を歓迎します。

7. 授業内容

- 【第1回】 講義計画(仮案)の説明。受講者の研究関心の確認
- 【第2回】 講義担当者と受講者との間での講義の進め方・内容、テキストの選定について相談
- 【第3回】 「開発経済学」の基本問題ー「開発経済論I」の復習・掘り下げ 第1回目
- 【第4回】 「開発経済学」の基本問題ー「開発経済論I」の復習・掘り下げ 第2回目
- 【第5回】 開発経済学と歴史研究との関わりについて考える
- 【第6回】 選定したテキストの講読ー履修者による報告①
- 【第7回】 選定したテキストの講読ー履修者による報告②
- 【第8回】 選定したテキストの講読ー履修者による報告③
- 【第9回】 選定したテキストの講読ー履修者による報告④
- 【第10回】 開発経済学の基本問題ーアマルティア・セン等の研究について
- 【第11回】 アマルティア・セン『人間の安全保障』を読むー基礎教育を中心に
- 【第12回】 アマルティア・セン『人間の安全保障』を読むーグローバル化の問題を中心に
- 【第13回】 受講者のレポート執筆計画報告 第1回目
- 【第14回】 受講者のレポート執筆計画報告 第2回目
- 【第15回】 まとめ